

## 日本陸上競技連盟からのお知らせ

## 目次

## ■2025年度 主要競技会日程

## ■活動報告

第236回ワールドアスレティックス (WA) カウンシル会議報告

第236回ワールドアスレティックス (世界陸連、WA) カウンシル会議が2024年12月3日～4日にモナコで開催され、カウンシルメンバーとして参加いたしました。

第52回日本陸上競技連盟トレーナー研修会開催報告

第52回日本陸上競技連盟トレーナー研修会を2025年1月13日(月・祝)に、オンラインで開催しました。今回は、「陸上競技における救護活動に必要な基礎知識」をテーマに、我々トレーナー部員が陸上競技の安全管理として関わる機会が多い、陸上競技をとりまく救護活動について考える機会としました。

## ■大会観戦ガイド

第108回日本陸上競技選手権大会・20km競歩

兼 東京2025世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

兼 グミ2025アジア陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

第36回U20選抜競歩大会

第108回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走

第40回U20日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走

兼 タラハシー2026世界クロスカントリー選手権大会 日本代表選手選考会

名古屋ウィメンズマラソン2025

兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ・G1

兼 東京2025世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

## ■事務局からのお知らせ

【お知らせ】日本選手権 申込資格を公開しました！～東京2025世界陸上への挑戦～  
赤松諒一選手がJOCアスリート委員に当選：陸上界を代表し、スポーツの価値を人や社会へ繋げる活動を

東京2025世界陸上への道：WAランキングをチェックしよう！

## information

- ・個人情報の共同利用について

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16577/>



- ・WRK対象競技会／広告規程について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2024年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16334/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2025年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17671/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2026年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21242/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2027年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21243/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2028年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21244/>



- ・アンチドーピング／鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>





# 第236回ワールドアスレティックス (WA) カウンシル会議報告

日本陸上競技連盟副会長 有森 裕子

第236回ワールドアスレティックス (世界陸連、WA) カウンシル会議が2024年12月3日～4日にモナコで開催され、カウンシルメンバーとして参加した。同会議の概要は以下の通りである。

## 1. 2024年を振り返って

2024年陸上界は大きな盛り上がりを見せ、数字で振り返っても、視聴者数、ソーシャルメディアへのアクセス数は大きく伸びた。陸上はよりグローバルな競技となり、入賞者を輩出する国数は増え、パリオリンピックでは金メダルは27か国の選手に渡り、ボツワナ、セントルシア、ドミニカ、パキスタンが初の金メダルを受賞した。WA大会に於けるサステナビリティへの取り組みは高い評価を受け、大会主催都市での経済効果は顕著である。マーケティングではホンダとの新たな契約締結を含め、順調にパートナーシップを推進している。陸上界は改革を受け入れ、新たな取り組みができる組織風土であり、リスク分析、リスクマネージメントを徹底して前に進む必要がある。2025年の課題としては、更なる改革に向けて、2026年初開催のUltimate Championshipsの準備、WASイベントでの新たな取り組み、競技規則の改正、ロード戦略、デジタルトランスフォーメーションが挙げられるが、同時に、WAの最重要大会である世界陸上競技選手権東京大会を成功させる必要がある。

## 2. WA主催大会 (WASイベント)

① 2025年世界室内陸上競技選手権大会 (中国・南京) のタイムテーブルが承認された。

大会は3月21日から23日まで合計6セッションで構成され、全てのセッションで決勝種目が実施される。

② 2025年世界リレー (中国・広州) のタイムテーブルが承認された。大会は5月10日・11日に開催され、混合4×100mリレーの実施が決定された。根強いリレー種目、混合種目の人気を受け、同大会で行い、今後の方向性を検討するが、2026年Ultimate Championshipsでの実施は決定している。

③ 世界ロードランニング選手権大会 (米国・サンディエゴ) のタイムテーブルが承認された。

大会は2025年9月26日から28日まで開催され、マイル競技から始まって、ハーフマラソンで幕を閉じる。2026年大会より通常の各国陸連からのエントリー枠に加えてハーフ、5km、マイルの各種目に最大5名のワイルドカードを認める事が決定された。ワイルドカード対象者はオリンピック、世界陸上、前回の世界ロードランニング選手権のメダリスト、世界記録保持者が想定されており、WAが選出する。

④ 世界陸上東京大会参加資格の一部修正が承認された。

35km競歩の参加資格取得期間を20km競歩と合わせて、2024年2月25日から2025年8月24日と修正した。

ダイヤモンドリーグからのワイルドカードは2024年大会ではなく、2025年大会の結果から取得できるものとする。

⑤ グローバルカレンダーの見直し

現在の国際競技カレンダーでは偶数年に多くのWASイベントが集中している事から、世界クロスカントリー選手権を奇数年開催に変更する事が決定された。2026年はアメリカ・タラハッセでの開催が決定しているが、その後は2027年、2029年開催とする。

## 3. 競歩

① 2026年1月1日以降のWAS大会で実施する競歩の距離を20km

競歩はハーフマラソン競歩 (21.0975km) に、35km競歩はマラソン競歩 (42.195km) に変更する。陸上ファンが慣れ親しんだ距離で実施する事によって、競歩をより身近な種目としてその凄さを実感できるようにすると同時に、一般への更なる普及を目指す。

② 世界U20世界選手権で実施されていた男女10000m競歩は廃止され、2026年ユージン大会から5000m競歩に変更される。若い選手の健康への配慮、成長に合わせた距離の延長、大会参加機会増加の狙いがある。

## 4. フィールド水平種目のファイナルでの試技方法

フィールド種目を見ているファンにとってよりおもしろくするために、ファイナルでの新たなモデルを採用する事が決定した。ファイナリスト12名で各選手3試技を行い、第3試技後に成績下位2名が落とされる。その後、上位10名で第4試技、上位8名で第5試技、上位6名でメダル争いの最終試技を行う事とする。全体試技数はこれまで同様の60試技。

## 5. WA規則と規定の変更

① アンチ・ドーピング規則

AIUからの提案に基づき2025年1月から施行される世界アンチ・ドーピング規則が承認された。

② 選手代理人 (AR) に関する規則

従来の規則では大会ディレクターは利益相反と見做されARを継続する事ができなかったが、各々の身元審査を行い、コンプライアンスを遵守する事で役割を兼務する事を可能とする。

③ テクニカルルール20.2.3が改定され、WAS大会に於ける組編成に於いて、テクニカルデレゲートに公平な形で関与できる権限を認めた。

④ シニア競歩種目の距離の変更に伴い、テクニカルルール32、54.1、54.7.3が改正された。

⑤ テクニカルルール41.3が改定され、ショートトラックのスパイクの長さについては、施設管理者が合意した場合には全ての種目で9mmまでを使用する事が認められる。

⑥ WAインドアツアー規則が改定され、各大会のレベルによる要件が明確にされた。

## 6. その他

① 施設管理者や行政の負担を軽減するために、施設認証制度が改定され、従来最大とされていた12年を経過後もWAの定める検査を受け、その結果基準を満たしていると認められた場合には認証を延長する事ができる。但し、サーフェスは20年以下である必要がある。従来の5-4-3年から5-4-3-2-2年への変更。

② 競技会に於ける記録操作の疑いでAIUの監視下におかれていたアルバニア、アルメニア、ジョージア、カザフスタン、キルギスタン、モルドバ、トルコ、ウズベキスタンでは改善が確認され、その監視が解除された。

③ トリニダードトバゴ陸連がAIUの監視下におかれ、世界陸上東京大会に参加する選手には事前のドーピング検査等必須要件が課せられる。

④ WAはアスリート委員会やジェンダーリーダーシップタスクフォースと一体となって、ジェンダーに基づく暴力に立ち向かう事を表明し、同問題の認知、教育、改革に取り組む。

# 第52回日本陸上競技連盟トレーナー研修会開催報告

日本陸連医事委員会トレーナー部運営部員 廣重陽介

第52回日本陸上競技連盟トレーナー研修会を2025年1月13日（月・祝）に、オンラインで開催しました。今回は、「陸上競技における救護活動に必要な基礎知識」をテーマに、我々トレーナー部員が陸上競技の安全管理として関わる機会の多い、陸上競技をとりまく救護活動について考える機会としました。

午前中のセッションでは、真鍋知宏医事委員長（慶應義塾大学）より世界アンチ・ドーピング機構が公開した2025年禁止物質リストについての解説をいただきました。また、本年9月に開催の東京世界陸上に向けた準備状況の共有、トレーナーに関する期待などについてもご講義いただきました。その後、パリオリンピックへの帯同を務めた砂川祐輝運営部員（Well鍼灸整体・ピラティス）より、日本代表活動のトレーナー帯同報告が行われました。チーム結成前からのコンディション把握の具体的な方法や、大会前の事前合宿および大会中のサポートにおける活動内容についてご講演いただきました。

その後、今回のテーマである「陸上競技における救護活動に必要な基礎知識」として、陸上競技における様々な視点から救護・医務活動の考え方について講演がありました。松尾信之介運営部員（大阪学院大学）による「東京世界陸上2025での活動計画とトレーナーに求める能力」では、世界陸上でのトレーナー業務や求められるスキルについての紹介があり、参加トレーナーに期待される能力について示唆をいただきました。次に大山下圭悟部長（筑波大学）による「陸上競技会の救護に関するルールについて」では、救護員が競技中の選手に触れたら反則になるのか？など、競技会の救護活動を円滑に進めるための陸上競技のルールについてご講義いただきました。廣重陽介運営部員と加藤基部員（ともに帝京大学）からは、「大会における救護事例報告」として、これまでの救護活動のうち、課題が残った事例について共有と解決策の検討やロード種目の救護活動の留意点についてご講義いただきました。最後に、松下美穂運営部員（森ノ宮医療学院専門学校）による「大会救護における医務室でのトレーナー活動と重度熱中症への対応」では、熱中症症状で医務室へ搬送されてきた選手への対応方法や他職種との連携事例を中心に東京五輪の経験をもとにご講義いただきました。

会の中で日本陸連のオフィシャルスポンサーであり、トレーナー部の活動においても日々お力添えいただいている大塚製薬の保土田様より情報提供をいただきました。今回はカロリーメイトの商品タイプの違いによる使い分けなど実践的な活用方法についてご教示いただきました。

本研修会はトレーナー部員に加え、日本スポーツ協会公認AT、日本陸連医事委員の医師、世界陸上財団の大会運営関係者など300名以上の参加をもって盛大に行われ、陸上競技の安全管理について多職種で再考する機会となりました。春からは競技会シーズンとなり、9月には世界陸上が開催されます。本研修内容を受講者が実践的に活用することを期待して会を終えました。

JAAP JAAP トレーナー研修250113

## ルールの確認

- 試合中（長距離の走行中）フラフラする選手に声をかけをしたり一時的な介護のために身体に触れることは可能か？
- 自分がチーム付きのトレーナーである時、試合中の競技者に直接処置を行うことができるか？
- 傷病者への対応と競技の進行、どちらが優先される？

## FOP体制（東京2020五輪後）

4

# 大会観戦ガイド

## 第108回日本陸上競技選手権大会・20km競歩

兼 東京2025世界陸上競技選手権大会  
日本代表選手選考競技会  
兼 クミ2025アジア陸上競技選手権大会  
日本代表選手選考競技会  
第36回U20選抜競歩大会

▼期日：2025年2月16日（日）

▼競技開始/制限時刻（制限時間）：

- (1) 日本選手権男子20k競歩  
8時50分/10時20分（制限時間：1時間30分）
- (2) 日本選手権女子20km競歩  
9時10分/10時59分（制限時間：1時間49分）
- (3) U20選抜 男子10km競歩  
11時10分/11時59分（制限時間：49分）
- (4) U20選抜 女子10km競歩  
12時10分/13時04分（制限時間：54分）

▼コース：六甲アイランド甲南大学西側20kmコース  
（WA認証 日本陸連公認コース）

▼問合せ先：【申込・大会全般について 日本陸上競技連盟】  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT  
OLYMPIC SQUARE 9階

お問い合わせフォーム

<https://forms.gle/k7rMMxLkPRBA89DF9>

【競技運営について 兵庫陸上競技協会】

〒651-0076 神戸市中央区吾妻通4丁目1-6 神戸市生涯学習  
センター内

TEL：078-231-1771（土・日・祝日を除く10：00～17：00）

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1834/>



写真：フォート・キシモト

## 第108回日本陸上競技選手権大会

### クロスカントリー競走

## 第40回U20日本陸上競技選手権大会

### クロスカントリー競走

兼 タラハシー2026世界クロスカントリー選手権  
大会 日本代表選手選考会

▼期日：2025年2月22日（土）

▼場所：国営海の中道海浜公園クロスカントリーコース（福岡市東区西戸崎）

▼種目/距離・スタート：

- ① U20女子6km 12：50
- ② U20男子8km 13：15
- ③ シニア女子8km 13：50（日本代表選考種目）
- ④ シニア男子10km 14：25（日本代表選考種目）

▼問合せ先：【福岡クロカン事務局】〒810-0004 福岡市中央区渡  
辺通1-12-9 フジビル3F 福岡クロカン事務局 TEL：092-  
738-2180、FAX：092-738-2243【土・日・祝日、年末年始（12/28  
～1/5）を除く10：00～12：00/13：00～18：00】大会ホ  
ームページ：[www.fukuoka-xc.jp](http://www.fukuoka-xc.jp)

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1916/>

## 名古屋ウィメンズマラソン2025

### 兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ・G1

### 兼 東京2025世界陸上競技選手権大会

### 日本代表選手選考競技会

▼日時：2025年3月9日（日）9：10スタート

▼コース：名古屋ウィメンズマラソンコース（バンテリンドー  
ム ナゴヤ発着、日本陸上競技連盟、WA/AIMS 公認コース）

▼種目：女子マラソン

▼申し込みに関する問合せ：【日本国内在住者】

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知ランナ  
ーコールセンター

TEL：0570-550661（受  
付時間 平日10：00～  
17：00）

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1920/>



写真：フォート・キシモト

事務局からのお知らせ

◆◆【お知らせ】日本選手権 申込資格を公開しました！～東京2025世界陸上への挑戦～◆◆

2025年度に開催する「日本選手権」の申込資格が決定しましたので、お知らせいたします。



▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21330/>



◆◆赤松諒一選手がJOCアスリート委員に当選：陸上界を代表し、スポーツの価値を人や社会へ繋げる活動を◆◆

JOCは、平成11年よりアスリート委員会（平成14年から29年まではアスリート専門部会）を設置し、アスリート自身が選手経験の立場から、オリンピック・ムーブメントの推進や選手強化事業の支援に関する活動を継続的に進められています。この度、JOCアスリート委員の開票が行われ、陸上競技から立候補していた赤松諒一選手（SEIBU PRINCE）が当選いたしましたのでお知らせいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21298/>



◆◆東京2025世界陸上への道：WAランキングをチェックしよう！◆◆

2025年9月13日から21日にかけて、東京2025世界陸上（第20回世界陸上競技選手権大会）が開催されます。WAはRoad to Tokyo 25として、東京2025世界陸上へ向けての選手ランキングを随時更新しています。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21284/>



陸連時報編集委員

◇編集委員

- 尾縣 貢（陸連会長）
- 有森 裕子（陸連副会長）
- 風間 明（陸連副会長）
- 室城 信之（陸連副会長）
- 田崎 博道（陸連専務理事）
- 山崎 一彦（陸連強化委員長）
- 鈴木 英穂（陸連事務局長）
- 石井 亮（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

- 平野 了
- ◇時報編集担当
- 日本陸連 広報

陸連時報編集室

〒160-0013  
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階  
日本陸上競技連盟内  
TEL：050-1746-8410  
FAX：050-3588-1869